

# ESDの来し方行く末?

こしかたゆくすえ



柴尾智子

ESD活動支援センター  
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)

shibao@esdcenter.jp  
shibaotomoko.accu@gmail.com

# SDGs と ESD (超) 簡単に

SD

Gs

SDのための目標一式 (G: goals)

『我々の世界を変革する 持続可能な開発のための 2030アジェンダ』

E SD

SDを実現していく人づくり、  
教育、学び (E: Education)

ESDは  
SDGs 達成に向けた人づくりです。

\*ESDという用語をご存じでもそうでなくとも、みなさん、関わっています。  
例えば、今日のイベントもESDの実践の場。

# ESD どこから来たのか？

種として誕生以来、住む場所を拡大し、数を増やして生き抜いてきた人類・・・

近年、科学技術の発達で、地球の自然環境、経済動静、社会の情勢や予測がデータで示され、グローバルに共有されるようになり・・・

その結果、このままで「私たちは持続可能なのか？」という危機感につながる。

ただの開発でなく、持続可能な開発・発展（SD: Sustainable Development）でなければ！

一人一人は、世界の一員であって、社会や環境との関係性のなかで生きている。

SDに貢献する人を育て、自らも育てなければ・・・教育、人材育成への注目  
⇒ESD

# 国連ESDの10年 (2005~2014) GAP (~2019)

2014年には日本（岡山、愛知・名古屋）で多くのたいせつな国際会議と文書

## ESD国内実施計画

2008年、2011年改訂、2016年、とESD関係省庁連絡会議により策定されています。

## 学習指導要領

現行+次期学習指導要領に、ESDが記載されています。\*「SDの担い手・創り手」

## ユネスコスクール (ESD推進の拠点)

世界の学校ネットワーク。日本では2005年の19校が現在1,116校 (2018年10月現在)

## RCE (国連大学認定ESD拠点)

2005年に認定開始。世界で160以上、日本に7か所

ESD活動支援センター 2016年~ 全国で9つのセンター 文部科学省+環境省により開設

地域ESD拠点 2017年~ ESD推進ネットワークにおける登録。全国で多様な主体の登録進行中。

日本ESD学会 2017年設立。理論と実践をつなぐ。

etc. etc.

# ESD (とても) 簡単に

ESDは

SDGs 達成に向けた人づくりです

- SDを実現するための知識、スキル、価値観、ライフスタイルを身に着ける。
- 学校、社会、企業、家庭などで。生涯学習。
- 学ぶ内容、学び方、学ぶ環境に、変革が必要。
- ESDは、SDを実現する人づくりであるとともに教育改革（教育の質の向上）でもある。
- 「関わり」「つながり」の重視。

# 持続可能な開発・発展

(SD Sustainable Development)

✖自分だけ（自分の地域だけ）  
（自分の国だけ）よければよい



社会的公正が重要

✖今だけよければよい



将来世代への配慮が必要

✖経済だけよければよい



経済・環境・社会+文化の  
バランスのとれた開発

✖なるようにしかならない/  
誰かがやってくれるだろう



人には持続可能な社会をつ  
くる力がある

（希望・参画・自分ゴト・協働）

# ESDの特徴（例）

教員が学習者に知識を授ける

学習者同士が学び合いを支援する  
学習者の教員

教科書・テキストを学ぶ

地域の良さを課題発見し、  
課題を解決するプロセス

いろいろな科目・知識が個別にある

科目にも、学校・組織運営にも、SDのための人づくりの考え方が浸透している

# ESD どこへ行くのか？

ESD for 2030

ESD :SDGs達成に向けて

ESD towards achieving SDGs

GAP後継枠組：今年中に国連で策定  
の見込み

すべてのESDは、SDGs達成に貢献する。  
教育・学びなくしてSDGs達成は不可能。

人類の持続可能性への挑戦は

人類が続く限り

人類が知性を持ち続ける限り、続きます。

新しいつながりで、変革のためのinnovationをおこしていきましょう。





2017年から、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会で、ESDとSDGsの関係の説明に使われている図です。

# 参考

ユネスコスクール公式ウェブサイト  
<http://www.unesco-school.mext.go.jp/>

→ユネスコスクール年次活動調査

## 平成29年度ユネスコスクール活動調査の結果（概要）

ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）では、文部科学省から委託を受け、ユネスコスクールとESD（持続可能な開発のための教育）の推進を目的として、ユネスコスクール活動調査を毎年行っています。このたび、平成29年度の調査結果を取りまとめましたので公表します。

### <主な調査結果>

#### 1. SDGs（国連持続可能な開発目標）の認知度が6割を超える。

回答者（教員）の63%が、SDGsの内容について知っていると答えた。

#### 2. SDGsの17の目標達成に向けた学校の取組が進んでいる。

以下の5つの目標については、全体の8割以上の学校が「活動している」又は

「取り組む意思がある」と答えた。

目標3（健康と福祉）、目標4（教育）、目標7（エネルギー）、  
目標10（不平等の是正）、目標16（平和）

#### 3. ユネスコスクールに加盟し、ESDを実践したことによる効果が、多くの学校で生まれている。

##### 児童生徒の変化

- ✓ 地域の環境に意識や関心が高まった
- ✓ 活動に積極的に参加するようになった
- ✓ ボランティア活動に参加する生徒が増えた
- ✓ 国際理解や伝統文化への認識が深まった
- ✓ 課題解決学習に取り組むようになった
- ✓ 学習に取り組む意欲が向上した
- ✓ 地域への愛着や誇りに思う気持ちが育った

##### 教師の変化

- ✓ ESDの視点を教育活動に取り入れるようになった
- ✓ 総合的な学習の中でESDを意識するようになった
- ✓ 教科の教育の中でESDの視点を意識した授業を工夫するようになった
- ✓ 地域連携の能力がついた
- ✓ 児童が意欲を持ち積極的・主体的に取り組む指導をするようになった

##### カリキュラム・教授法の変化

- ✓ 総合的な学習の時間を中心に、教科横断型の学習を進めている
- ✓ 年間の計画を立て、ESDカレンダーを作成した
- ✓ 地域を教材にしたカリキュラムや地域の人材を活用した授業を行った
- ✓ 教師主導から生徒主体の課題解決型に変化した



## <今後の主な課題>

### 1. ユネスコスクール間の学校間交流の実績が十分でない。

他のユネスコスクールと交流した学校は全体の41%、海外のユネスコスクールに限定した場合は24%に留まっている。ユネスコスクールには世界的な学校間ネットワークを活用した交流が推奨されているが、ここ3年間の交流実績は横ばいのままである。

### 2. 活動に対するモニタリング・評価を行っている学校が少ない。

自校のユネスコスクールの活動に対してモニタリング・評価を受けていないと答えた学校が全体の71%を占めている。

## ○調査の概要

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）が文部科学省の受託調査として平成29年12月～平成30年1月に実施。調査内容は平成29年度の学校の取組（平成29年4月～平成30年3月）。国内の全てのユネスコスクールに対してウェブ回答による回答協力依頼し、765校（回答率約74%）から回答を得た。

調査の詳細は以下別紙のとおり。

- （別紙1）平成29年度ユネスコスクール年次活動調査 結果
- （別紙2）平成29年度ユネスコスクール年次活動調査 考察
- （別紙3）平成29年度ユネスコスクール年次活動調査 質問票

## ユネスコスクールとは

ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校であり、ユネスコが認定する学校。現在、世界180以上の国・地域で11,000校以上、日本国内で1,033校が認定（平成30年6月）。文部科学省では、ユネスコスクールをESDの推進拠点と位置付け、加盟校増加に取り組むとともに、世界的な学校間ネットワークを活かした交流、好事例の共有、教員の知見の共有など、活動の質の向上を推進しています。

## ESDとは Education for Sustainable Development

持続可能な社会づくりの担い手を育むための教育。国際理解、環境、人権・平和等、様々な学習テーマを「持続可能な社会の構築」の観点でつなげて総合的に学ぶことで、持続可能な社会づくりに必要な価値観や行動等の変容をもたらします。ESDはUNESCO（国連教育科学文化機関）が中心となり、世界中で取り組まれています。愛称は「今日よりいいアースへの学び」です。

## 新学習指導要領とESD

2016年12月に発表された中央教育審議会の答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」には、「持続可能な開発のための教育（ESD）は次期学習指導要領改訂の全体において基盤となる理念である」とあります。答申に基づき策定され、2017年3月に公示された小・中学校学習指導要領、2018年3月の高等学校学習指導要領では、全体の内容に係る前文及び総則において、「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられており、各教科においても、関連する内容が盛り込まれています。

（調査実施元）  
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター  
（ACCU）  
〒162-8484 東京都新宿区袋町6（日本出版会館内）  
TEL：03-3269-4559 FAX：03-3269-4510  
E-mail：webmaster@accu.or.jp  
ユネスコスクール公式ウェブサイト  
<http://www.unesco-school.mext.go.jp/>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32  
出版クラブビル7階  
TEL:03-5577-2852 FAX：03-5577-2854